

けい酸カルシウム板タイプ2の取扱いに関する留意事項

本留意事項は、製品使用者の皆様に製品を安全にご使用いただくための主な留意事項をまとめたものです。製品のご使用に際しては本留意事項に十分ご留意いただくと共に、メーカーのカタログ・技術資料等にしがたってご使用くださいますようお願いいたします。

1. 設計・材料使用上の留意事項

- ・せんい強化セメント板協会(以下、「当協会」という)会員のカタログ記載事項に従ってください。
- ・製造ロットにより色調が異なる場合があります。
- ・斜光および外付きの照明の光によっては、表面に陰影が見える場合があります。
- ・色調、表面状態は表裏面で異なりますので、へだて板等両面使用の際はご留意ください。
- ・浴室、サウナルーム等には使用しないでください。
- ・屋内側が高湿度となる場合は、内部結露が発生することがありますので、十分換気してください。
- ・高温、高湿等特殊な条件での使用については、事前に会員にお問い合わせください。
- ・室内プールのロックウール化粧吸音板下地材として使用する場合は、ロックウール化粧吸音板メーカーの標準施工要領書等に従ってください。
- ・熱が掛かる個所への使用については、熱による下地とボードの動きを考慮して、留め付け金物の径より大きな下穴を開けボードを留め付けてください。
- ・ドア等開口部へ施工する場合は、クラック発生の恐れがありますので、けい酸カルシウム板(以下、「ボード」という)に切り欠きを入れない割付をしてください。
- ・風や地震などによる建物の変形によりボードにクラックが生ずる場合がありますので、躯体の変形の力が直接ボードに伝わらないように、伸縮目地を設けるなどの処置を施してください。
- ・軒天井に使用する場合は、風圧計算を行い、下地間隔や材料厚さなどを会員に相談してください。
- ・天井、軒天井、野地板等施工したボードの上に乗らないでください。
- ・GL工法は、施工後接着性やそり等の不具合が発生しますので避けてください。
- ・ボードに直接手すり、設備機器は取り付けられません。強度のある下地材に取付けてください。
- ・防・耐火及び遮音等認定を使用する場合は、認定仕様に従ってください。

2. 運搬、保管の留意事項

- ・保管は屋内とし、直射日光、雨の当たる場所、湿気の多い場所を避けてください。
- ・屋内の固い平らなところに水平に置き、パレットを使用してください。
- ・輸送時の損傷を防ぐためロープを掛け、角には必ず当て板をしてください。
- ・荷扱いの際は、衝撃を与えないように丁寧に扱ってください。
- ・ボードの上に物を置いたり乗ったりしないでください。
- ・施工現場では安全のために、積み重ねの高さを1m以下としてください。
- ・立てかけ保管は、ボードの変形の原因になりますので避けてください。

3. 施工上の留意事項

- ・ボードの表面に物が当たったり擦ったりすると、「キズ」・「テカリ」等が生ずることがありますので、取り扱いには留意してください。
- ・ボードを持ち運びするときは垂直に立てて行き、水平に持たないでください。
- ・カタログ、技術資料等の施工要領に従って、正しく施工してください。
- ・天井施工の場合、ボードの繊維方向と下地の方向は直行させてください。
- ・ボードの目地は、下地の上にくるように割付けてください。
- ・下地は不陸のないように、通りよく仕上げてください。
- ・ねじ抜け、保持力不足、亀裂等の原因となりますので、ねじは必要以上に強く締めすぎないでください。
- ・間仕切壁の場合、上下ランナにはねじ留めしないでください。

4. 廃材処理の留意事項

- ・廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下廃棄物処理法という）に従い、「ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず」または「がれき類」として安定型処分場に処分できます。（自治体により異なる場合がありますので、詳細は事前にご確認ください。）
- ・廃棄物処理法における廃棄物の排出事業者は、元請様となります。

5. 安全衛生上の留意事項

- ・作業に際しては、「労働安全衛生法」等に従って安全対策を行ってください。
- ・電動工具を使用して製品を切断、加工する場合は、「粉じん障害防止規則」等に従い、必ず集塵装置および防じんマスク、保護めがねを使用してください。また、各作業の必要に応じて保護手袋や長袖の作業着を着用してください。
- ・粉じんが発生する屋内の取扱い作業所には、除じん装置を設けてください。
- ・作業後は、うがい・手洗いを励行してください。
- ・製品の粉が目に入った場合は、目をこすらず速やかに異物感がなくなるまで清水で洗浄してください。

以上